

NO. 154 昭和廿八年三月八日 発行

登録名義 森幸一 代理 バスト自治会 C.P. 26

誌代 一ヶ月60.- 外部70.- 発行所 バスト週報 RUA PRES. VARGAS C.P. 112 発行人 織田素者

正しい主張 バストス週報

へちま閑談 14

真平御免勝手放題記 2

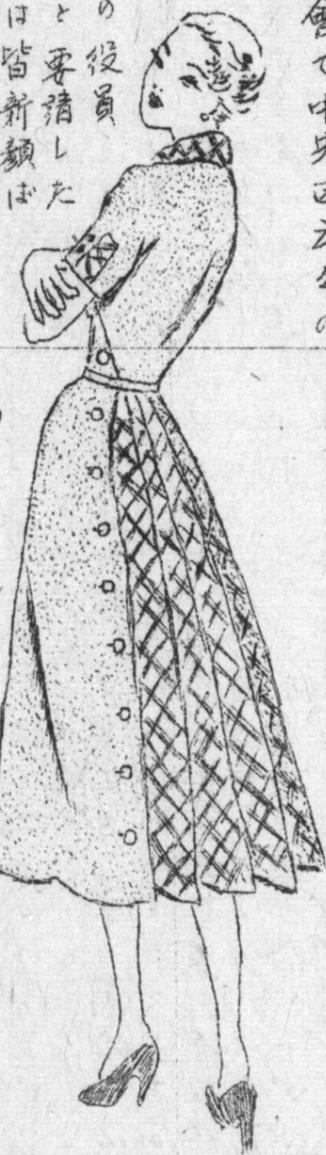
前週本田正雄氏との対談を書いたたら、とたんに抗議が出た。反響が早すぎるので、とまどいの形である。君ありの対談はちがって、黙認しがついたもので一応お話しするから、訂正して貰いたい」と上西さんに所角で言われた。「それより一そ、あんたと私を対談をやりませう。そして堂々と名前を發表して意のある所を述べる。そしてお互いに反者すべき点は反者し忠告し、明瞭な建設的をしようといふ線で行きませう」と提議するとよろしとはかり時をうつつさ、実行した。こちら是对談で一回一答式ムセイをまねて居るので、さしづめ上西さんは慈を背負った鴨といふところ。

織田素者 上西茶治 週報社チーラ 三月三日午後

聞いて貰い度い話

二月十七日の代議員會で中央区云々の

正やんの言葉は少しちがつている。一応あの時のことを話して見ませう。



あの代議員會は中央区の役員が招集して貰いたいと要請したものであった。役員は皆新顔ばかりだから一応自治会の性格も知らず、中央の行き方をきめたいと思つたが、置かぬ必要があるし、自治会の話もきいて、なりた五周年記念事業計画の説明には、いつてしまつて石橋氏案を以て進行させる様に見えたので、ただ、石橋さんは自分だけのメモであつたのを議事を進行させる上に便宜上、時間まわに正やんの進言で刷りさせたの相本、だから押しつけたんでないでせう。ウチに百コントのり、案が出た記念事業進行に要する割当等も説明してあつたが、石橋さんの件はとうとうまじりなかつた。石橋さんは使途はともかく、長も拒否の態度であつた。その席上、中央区が自治會へ差出す十二

ARMAZEM DE CEREALIS

OKAMOTO

AMENDOIN

いよくアメンドインの收穫期に入りました

数量の多少に不拘

とうもろこし

當店へ御取引下さい

正確・確實

白米、卸、小賣

御取引は確實、責任を以て御用命に應じます

農産物仲買

岡本商會

新ジマルジネーロ ホント隣り

Basto

只今流行中の、ウイグズ、ベルリン、ブカ、リウスの大割引、見切品の大提供は、バストス中の大評判でござります

端切れ及見切品は、二〇%から五〇%といふ、思ひきつた割引を

お尋ね様方には、うんとカンニア、していただきます

また、お買上げなさい方も、ベルナンスカラスの、大奉仕を

おひとり残らず、御利用下さいませ

FAZENDAS ASAS PERNAMBUCANAS FILIAES EM TODO O BRASIL

コントの明細を説明して貰い度いと云った。帳簿をこまかしたといふ意味では全いが帳簿なるもの。会計處理の上では完全とは言ひがたいと思ふ。その時の言葉の端々が多少尖鋭的だった。

○ 櫻さんの發言は、市制の敷かれていた今日、昔から板が命を付けた自治会といふ名稱は古い。よろしく時代に即した名前。聯合日本人會といふやうなものにしてはどうかと提案した事である。殆んど出席者全部がその案に賛成だった。その時石橋さんは目下登録中だから名前前は替えない方がよいと頑張った。中央区の意向では過去の會計の事にも觸れず新規まき直してやらうではないかといふ意味で強く之を主張したのだ。

○ 自治会を認めないとは云は人のだね。名稱やら何やら変替して、改良してほしいと言ったのだね。

○ 石橋から病院の話を聞いた。自治会は下ら拓から病院を只で貰ふことになつてゐると石橋さんが言ふので、本田正也さんと僕が只くれるもんかと言つた。すると石橋さんが「新案に何が判るもんか」といった。(笑)

○ さきに櫻さんが自治会の會計がナットランといつた暴言と之れで差引か(念)石橋さんは今迄自治会長と中央区長を兼ねていた為め自分の思ふ通りになつたであらうが一方中央区内にはそれにあき足りぬ人も沢山居ることを忘れては困る。アッシーアソン、アミ、ゴデバストスの名稱もよく考へてもらはねば困る。主として日本人の団体なんだ。そういふ不備な名より(協力会)といふ意味の名がよいと思ふとて櫻さんが「ここで少し調子がついで、人の言ふのを全然きかない。会には私がついて行かないと云つたんだ。中央区として自治会と行動を共にしないとは言はなかつた。」

○ 又中央区役員として合議制としてある。近櫻氏を擁立するけれど、櫻さんがその時ゆきか、り的に云つた事は相談してなかつた。

○ 才アあの場合では初めから空氣がわるかつたから言葉尻を捉へることになれはあ互いに氣まづい事もあらう。

○ 中央区新役員は時の勢に乗じて旧勢力を駆逐し、なんていふ氣持は無かつたかね。

○ 冗談いつては困る。あの時の會合では五周年祭の事業を遂行するに当り、中央区を主体としてやるように考へて、協力する。各セクションは出来る限り之に協力する。この建前のもとに議をすめるに於ては、自分は石橋さん最高、レスベイトを各しむものでないといつてゐる。櫻さんの言葉をきけば、その満

息もその心持ちもよく判るではないか。○ 今迄の入植祭には自治会が中心になつて来たが、この陰には中央区役員の不平の声もあつたやうだ。特別な委員会を作つてやることは公平でよいかも知れぬ。

○ 石橋さんが何から何迄ひとりではいはいを配る(振る)のも困りものだ。時代の動きに添つてもらいたい。

○ さつきの話だが百コントのリーフア賣り出しで、まとまりぬのに、櫻さんは記念會館建設二百コント案を中央区で出すやうに云つた。それが成算があるのかね。

○ そりや理想案だらう。

○ どのつちもどつちだ。時に有志会はどつちなつた。誰が考へた案かな。

○ 石橋さん櫻さんの言葉が共に尖鋭化すやうに思はれるので中央役員を含め一校の方々に集つて伺いて意見を伺ふ。二うとしたが、ポイント問題が近く解決する様だから、それからがよからうと云ふことになつて居る。

○ 私は平和裡に中央区自治会の關係が治まることを希望する一人として進言するのだが、貴下等若手副区長に本田正也人を加へ一度石橋さんと話して見んかね。そしてお互いに譲り合ひレスベイトを合つてもいいわ。過去の陰惨時代によくバストスをまとめてここ迄来つて来た者の功績を忘れてもらつては困る。すべてをそこからお察してもらふことだ。

○ そりや理想案だらうと思つて居る……。

★知ラセ★

バストス 植木商店

皆様お待ちかねの種子(一九五三年度種)が入荷致しました。

◎リオスランテ種子

セホーラリオスランテ
大形赤人蔘セノーラ
白色レホーリヨ
サヤ豆、エンドウ各種

◎北米種子

レホーリオ、シヤット、キントール
中長赤人蔘、クルスバ
アルファセ

◎ヨーロッパ種子

コーベ、フール十三号
アルファセ、フランセース

◎日本種子

新早生、みの九日、宮重、
ねり馬、聖護院、大板各種
白菜は、結球、チブ、山東、朝鮮、其の他
多少に拘らず御用命願上ります

(前書き)

昨年未、歳末の忙しい一週間、泉博士が未植と此、學術上から移民の生息を仔細に研究された。その時のことを少し書いておきたいと思つて、崎田から招さん(附録)に依頼した所、いや其の件は僕自ら筆を執るつもりで居りますから、御心配なくといふ話であつた。今、同君から送られて来た原稿を見ると、私がムリに書かせたように感じられる。原稿の催促は十回以上したが、それは余り時期がバツサすると感興がうすくなるからである。編輯者……

東大助教授 泉靖一博士

の調査に同行して

G・サキタ

織田系音週報社筆に幾度か、泉先生の未植とその調査に就いて書いてくれとの事でありましたが、頭の悪い筆をとつた事のない愚生に、そんなくわしい事が書ける譯もありません。間違つた見識で述べるところもあると思ひますので、前以て其の点御諒承願つておきます。

泉先生が訪伯され、各地の移民調査に当られた目的は種々あつたと思ひますが、先生の事柄である社會學の見地から、伯國に於ける日本移民の文化の狀態を主として行はれたように思はれます。

人口の増減、習慣の變化、伯國社會に対する常識、祖國に対する関心、児童及青年男女の智能、之主として調査されたよき文化、經濟方面、住宅の構造、田主作物の變遷、新地の利用等も附随して居りました。当地に未植され、移住地内全般にわたる調査は、より綿密な調査をといふ建前から、階社日数と照し合せて不可能と申され、先生の希望により、アルト区、スロリア区の一部、大体四十家族を目標として着手し、日本人家族であれば、農場主から小作農に至る迄の地域は、文字通り風ふぶしに調査を進められた譯であります。

内容に現はれて来るものは、吾々の知らなかつた事柄が色々なカタチで現れて来ました。例へば渡伯以来二十数年間、転々として耕地から耕地へ、地主から又耕地へと数回のムカシを繰り返して移動した家族、モジアナの租界契約を真面目に守つて移住地の土

地を購入して入植した家族、或は又移住組合員として直接移住地へ入植し、二十数年その土地を守り来た者、それ関連する現在の家計。人口の増減に就いても十人にもかゝり子供さんを持ち下ら、その大半を失つてしまつた人、建設時代に父を失ひ、かわい少年と女の手で築いた現在の經濟力。

いまだに他へ轉耕の希望をもつ人、バストスの土になるといふ建前から事業を進めて居る人、等々……その調査の中には、津々よと盡きざる奥深い何物か、うかつわれる氣が致しました。青年男女にしても盲目的に親の感化を受入れて居る者、新しい道を求めて居る者、離村の心を抱く者、土に生き、恵まれた農村建設を画いて居る者、種々様々の意志が現はれて居りました。調査を以て先生の中されたことですが、「自分が日本よりえがいて来た移民の狀態がバストスに於て始めてピツタリとくるものがある。今日迄調査し来た他の地方と比較してバストスの文化は高い。特に婦女子の程度の高いは何よりうれしかった」と云つて居りました。

来る 三月廿三日 (二十時) 産業會館に於て

多賀安郎氏

大講演會

多賀安郎氏御紹介

十数年前、杭州灣敵前上陸の部隊に後援してその体験談を講演して廻り、バストスへも来たことのある方、三十才前後以上の方々は記憶があらましよう。其後、代議士にも選、只今岡山県日伯協合理事長、先般サトス及び再渡伯、奥地、同県人事情調査の傍、戦後の日本の現狀について講演をされます。

新聞記者出身、政界へ入り来た多賀氏の鋭い批判をお聞き下さい

入場歓迎 (無料)

主催 バストス 自治會 後援 岡山県人會

「難」を申すなら、そういう文化面にくらべてバストス全般の土地を見る時、何となく空漠たる感を受ける。土地が充分利用されてない言ふ迄もなくバストスの主産物は鶏卵と繭ではあるが、経済上から見て購入される物資の方が多すぎる。何を植えても砂地だから出来ないと云はれるが、私の考へるところでは決して不毛の土地ではない。草は人を埋める程の大きさは居る。土を耕すのが本當の農道であるならば、自分の土地を耕作すべきだと思ふ。少々土地の悪いのは問題でないと思はれる。だが移り来て本當に自分の土地に對して愛着が起り、ここが墳墓の地と決心の上来る時期も必ず来ると思ふし、そうなれば定地には花や樹木も植られ再びバストスの畑が青々と作付され、落付いた農業者が出来る程になると思ふし、又「斯くある様願ふものぞ」と苦言をも提して居られます。確かに、うなづける点も多々あると思ひました。

先生の御熱心さ、御仕事に對する情熱に接して居りますと心を打たれずには居られませんでした。又今度の調査旅行には最初から先生と同道され同じ道の研究をして居られる聖市官立文理科大学、社会学を学ぶ香藤廣志氏の熱心さも吾々コロニア人にとりては心強い文化人といふ程の感銘を受けました。特筆しておきます。

聞けば博はまた三十七歳の壮年の由、無学文盲の士である私が二人の学者より学んだことは仕事に對する情熱と才眼を惜しんで働きつづける人間的な大迫力であつたと思つて居ります。(了)

バストス婦人會

引つゞき活動中々活潑

バストス婦人會にては去る二月八日田中氏方に料理の講習會を用き池田夫人によつて家庭向き夏向き珍味の教々を傳授され、丹那方とせはせることとなつた。出席者六十人。

次は三月一日(日)田中氏階上廣向にてキ三回を開催、バストス廿五周年記念寫真帖に揚載の爲め六十五人の集合撮影後、此の日の主要行事、比多商店新夫人の上海從軍談を大きく事になった。

同夫人は昭和十六年看護婦として應召上海戦野病院に勤務、終戦迄引つゞいて外地に在り、つゞきに艱難辛苦を味つた人、その語るところ一つ一つの眞実の体験、談たまく佳境に入り哀切胸を打つや、聴衆ハンカチで顔を蔽ふもの、すすり泣きの声起ると感激一時同余、絶大の好評を博した。

初てその次は来月のこと、来る四月五日(日)は中央、田中階上にてリットテフラゴの料理講習會、櫻氏の指導とあり、會員諸姉、忘れず出席あり度し。

引つゞき、毎月第一日曜日之例會日と定め次々と新鮮な企画を發表する筈。

……またあります……

比島モンテンルバに日本の戦犯として收容される中、同胞へバストス婦人會の爲によつて来る二月月上旬慰問状を送つた。

遠くはなれた伯國の彼らに、どういふ救助の手ものべられなければ、せめて慰問の手紙でも送つて激勵する事は、わたらの望みです。どうかお志のある方は筆さとして一文を書いて下さい。引つゞき送付を待つける事になつて居ります。

……最後に、お金の話……

「久遠の祖國」の著者石塚正明氏よりバストス自治會を通じて金一、四、〇〇一婦人會へ頂き、また、日系女性保護部といふような仕事へ使用してくれとの事。

新振附 舞踊發表會

期日 来る三月十四日十九時
場所 バストス産業會館
入場料 御一人前 金五針也

但し此の収益は全額イクレージヤ建設資金へ寄附いたします。
(御ことわり) ひばり楽団の演奏は都合上取止めます故御註解下さい

出演者は、藤原整の女生徒
主催 藤原ハネ子

★ロンドン日記

系遊子

二月五日

キロンボにはホテルが四軒あり、内二軒が日本人経営である。各前はホテルだが、実質的にはペンション級。ホテルモリなども頗る家族的で、すぐに身の上話しが始まりオチさんオバさん式になる。バストスからは三年前草原さんが来て十日でなほった。清原さんはひさい神聖痛だったが二週間でなほった。前田呉服店の丹那はエキゼイマだったがオチ三日でよくなったと靈驗あらたかな話ばかりさかせる。それならば自分のも治るかも知れんといふ心理作用がこのところ大分影響するようである。

ホテルトミタは浴場の傍りを流れる小川を渡って川ぶちに在る。川床をしつらえ、舟型のフランクを設備し、川端には柳が枝を垂れて、清流にはランバリーが泳いでいる。家の周りを家鴨(ガキン)といっていたが、十羽ほど尻ふり歩く風景いかにも俳句的で、詩人ならずとも、まことにすてがたい眺めである。自然の地形を利用して、うまいところへ家を建てたものかと思ふ。従つて浴場に近いのと相俟つて泊り客もすい分多い様である。建物は今の所、貧弱で小屋といった感じだ。フロムレソンの梅山さんの庭園を見た人ならず、納得のゆく水流に恵まれたところである。

そんなによいところなら何故そこへ泊らなかつたか。だが人には好き、好きさといふことがある。本を讀んだり何か書いたりなどといふ怒ほうのある人は、少しゴチャくして落ちつきのない氣がする。

全浴客の二〇%が日本人、やはり外人が圧倒的に優勢ではあるが、浴客の五〇%は病人だから優勢だからといって自慢にはならない。

三日居ると暗黙なじみになる。同病相憐むといった心理が互に声をかけ合ふのである。一月以上ニヶ月も悠々と滞在して治療して退院まぎれに入さへ見れば話しかける老婦人、歩行不自由で娘を杖の代りにしている老紳士、自動車で一日二回位やつてくる松葉杖の青年、ともすれば二十人位まわりと浴場外のベンチに腰かけて唄者どまってることがある。観察するとやはり四、五十

以上六〇歳位の老人が多く、男女の比率は同じ位。病氣はエキゼイマが筆頭で、次がリヨマチ神聖痛の類、胃腸の悪い人は外觀はきれいだがか中には頭髪の地肌汗疹の掻きふきま物があてジクくいてゐるきたないのも居る。だが私のように顔に大痣となつてはれよつてゐるのは外に見当りなかつた。

仲間が無いので、はつてよいかさびしがつてよいか。今日偶然六十位の熊本弁まる出しの婦人が現はれて、私の顔をつかしてけしけし見入るのである。知人に會つたような親しさだ。それはその老婦人の顔にも私のよるエキゼイマの症状があり、私の方がずっと重症なので、よほど安心したうしく、色々身の上を話しを始めた。

病氣のひどいのを自慢するもの、比較的軽症でほつとするもの、いつか治ると信じて、じつくりかまえてゐる様子などの顔にもあらわれて、ほ、えま、い。

MILLHO

ミリヨ

脱穀

いたします

御申込次第遠近

出張いたします

ミリヨ

買入・販賣・御利用下さい

ミリヨ キレイラ製粉

御引受致します 販賣もいたします

アルファ

ALFAFA 粉末

清水商店

YOSHITAKA SHIMIZU

パール中村隣り(テイスネノベンス口街)

キロンボつツキ

二月五日

聖書にはキリストが奇蹟を行ふことが随所に見える。中でも病人に手をふれたり一喝したりしただけで皆癒つてしまふ。ラザリなどは一旦死んでゐるのを甦らせたりする。假死情態だったのでろうけれど二千年も前のことだから今ここで疑つて見たところで始まつたさうですかと言つて信することは一はん幸福である。キリストが成る日白泉のわきを通ると十七年も足なえで悩んでゐる病人があつた。泉に波が立つた時とび込むと病氣が治るといふて、それを待つて居るのだが、波がなつと、外の病人が先にとび込んでしまふので機會がない。そこへキリストが通りかかつて「なつて歩め」と命ずると、ア、不思議立ちどころに治つてしまふ伴りがある。

この泉は今もあるかどうか知らぬが、たぶん鏡泉の類ひでキロンボの泉見たようなのではないかな。
この一号室は、もく／＼とよく噴いてゐるが二号室の方は時々止つてしまふので太い管が用意してあつて上からつづくのである。だから浴室は二号室を好まないで、私は待つのがいやです。二号室へ入る。太い管を穴のあたりに突き立て、く／＼と砂底へ押し込むと、凡そ三米位ある／＼といふ。そうすると勢よく砂をふき上げて水がこつと散る。水面に小波が立つて、メカカヤランバリーが面白そうにス／＼走りまわる。波が立つ時、泉にとび込んだ聖書時代の病人の心理も現代のわ／＼病人の心も同じこと。たまり水では氣に入らんのである。

ふき上げる新しい水になる可く患部をつけるようにして一日も早く全快せしめ給へと念を心に早乙は無言である。

私はどちらかと云へば信仰心より科学力にたよる心持が強く、この噴き上がる水にはカルシウム何れ、硫黄何れ、ラジウム何れ、何れ、何れ、エトセラ。これが人体に外部から内部から作用するのを信じ、神も患をたれ給へと祈るのはつきたりで、せおしい時は平氣で忘れてしまふ。しかレ泉の効力は、あらたかだ信、不信によりず、薬効を感ずる患部は少しづつ治癒されてゆくようである。こんな山奥の一踏谷に昔々フスレが發見した不思議な泉を、神がこの伯國人をあらわれみ給ふて噴きあがしめ給ふありがたさ。之をすべて神のみわざに歸してゐる筈。信の男女も多いでありう。脱衣場にはナンタマリアやヨハネの像に自分たちの寫

6

眞を入れて一類を寄進してゐるものもある。日本の神社に奉納してある繪馬の方が、おつと個性もあり郷土色もあつて面白いが、お國柄どうもナンタマリアの繪像も非芸術品で觀賞するに足りない。
私は信仰心のないせいであらう、病状違々として行きもどり、さつぱりハツキリしない。一ヶ月も居たら何とかなるだらうと腰をすえる氣になり、夜半にそかに銭入れを出して数へて見た。いやいや心細い次第だ。

予告

世紀の偉大なる予言者 賀川豊彦先生は四月十三日來植。同夜はホリネス教會に八時歡迎新會。十四日午後二時青年の爲め、午後八時一般講演。一 演題は青年には「開拓精神と精神生活」一般には「原力時代の宗教生活」十字架の冥想」の内何れか選ばれる筈。

何しろ先生の講演は多種多岐に亘り、社会問題を取り扱つたもの、共產主義の誤謬、2 世界運邦と世界精神、3 世界史の精神的基礎、4 社会構成の精神基礎、科学については、唯物論思想の批判、5 宗教については、原力時代の宗教生活、6 宇宙創造と宇宙精神、7 聖教兄弟愛史の一例、8 ヨハネの宗教的秘義、9 十字架の宗教の絶対性

農業については、1 立体農業と聖者農業、2 農村設計と精神生活、3 開拓精神と精神生活、4 愛土愛隣、愛神のまじり、5 農村協同組合の精神的基礎、6 聖書研究の面では、1 十字架の冥想、2 パウロの冥想、3 聖書の宗教精神、4 等、何れも有名なものである。どの一つをきいても吾等の血となり肉となるものばかりである。

尚々ところによると賀川先生は清貧に安んじ始終執筆をされて稿料を得て居られる由であるが、在伯中は其の余暇を朝夜講演の旅をこつつけられ個人的収入といふものは全然ないの相で、痛ましい心持をへする。私は決して強いるのではないが講演のあと献金の志ある方は、この聖者の爲めに一燈を献ずるの芳志を若くないでいたゞき度と思ふ。賀川先生の熱弁をきいて心を打たれた人は、おそれなく一人もあるまいと思ふのである。

(原音生)

工又テヨル事務所より

お知らせ

Masaji Yokota
Masami Ishioka
Mitsumi Ikoma
Takeo Iwai
Kohhei Kosaka
Masae Kosaka
Yuko Kosaka
齊藤 義忠
Yuriti Abe
Kazuy Massao Okamoto
Ignacio Koga
Kumei Nakano

モテロニ十
外国人登録

旅券

以上は森幸一氏時代に預って居て
今日に及んで居ります。本人は存知の
方は知らせて上げて下さい

当事務所に先年手続を致しました鑑識
手帳の内第一回分、左記の方のが未上
りましたから受取り下さい (教称署)

吹本 次男 松本のほる 清家 カ
東利 徳 植木 画ニ 崎田 春一
齊藤 義男 作間 香雄 信太 茂
黒川 三茅 武山 貞美
他は近日中午に届く予定、追って発表します
未だ取得して居らぬ方は三月九日より十四日迄
にツパン 警察署に旅券を持って行けば手続
きが出来ます

ビラ サンルイスの市街地
購入者に告ぐ

イアフリカの南側に市街地として賣出
されたタッタの持主が火山ある苦慮が
遺憾なく市街地に在る見込はありせん
今回同所に子カリフト植林の計画があるの
タッタ賣却され度き希望者は至急左
記へ書類持参 御出で下さい

中央ササキ薬局
佐々木久輔

トルタの配給

予ねて立案中の養蚕家に対するトルタ
テアルゴドン 配給諸額が受 附られます
少量からバスロスにも到着の運びとなりま
協会員に出来る限り公平に分配致し度き希
望者は至急御申下下さい
此のトルタは、桑園用肥料としての配給に
き他への横流しをなさらぬ御注意下さい
申込期日は三月廿五日迄に左記へ

- 1 ブラタク 製糸工場
 - 2 橋本蚕種製造所
 - 3 ハウスタ 養蚕協会バスロス支部
- 崎田 春一
- 養蚕協会各員各位へ

中女子校 授業開始

ジナジオ サンジヨセ 本年度(一九五三年)
の授業開始は来る三月二十日と決定
全校生徒の健康診断三月十日午後一時
同校にて執行、お忘れなくお頭のこと。

シッチオ 賣却

場所 ウェンII区 九四、九五号地区
面積 二十アルケレス
設備 住宅レンガ建 及木造 各棟
鶏舎七棟 その他バスター
希望の方は左記へ御訪ね下さい
ウニオンII区 九四号

小林 伴三

至急 事務員を求む

中学卒又、同程度の資格ある
十七歳以上の女性
○ 中学中退者は見習として採用
○ 保証人同道本人未所下され度し

バスロス 商業事務所
浦 恵 樹
西 徹